

平成29年度 部局長マネジメント方針

きたばやし やすお
教育総務部長 北林 康男



仕事に対する基本姿勢

教育総務部内には、教育管理課・施設整備課・学校給食課の3課があり、それぞれの課において東大阪市の教育施策を現状より少しでも良くできるよう、業務に取り組んでおります。

中でも「小学校普通教室のエアコン設置」や「中学校給食の実施」という、大きなプロジェクトを現在抱えており、より良いサービスをいかに低コストで提供できるかを部全体で日々検討しております。

また、日々の事務事業を円滑に効率的に進めるためには、部内3課のチームワークが非常に大切であり、そのためにも「情報の共有」「業務提案のしやすい雰囲気」など、部内の風通しを良くすることを常に意識し、仕事に取り組んでまいりたいと考えております。

平成28年度の振り返り

公立学校施設の耐震化については、市立日新高校の校舎の耐震化が完了いたしました。また、災害時には地域の避難所にもなる小中学校体育館の利用者の安全を確保するため、学校体育館の非構造部材（サッシ）の耐震化も完了しております。

学校トイレ洋式化については、小学校9校、中学校11校のトイレを改修し、計画した学校の改修は全て完了しております。

小学校普通教室の暑さ対策については、小学校15校の普通教室（289教室）にドライ型ミストを設置し、全校への設置を完了しております。

学校園施設の電力供給契約の見直しについては、市内全小中学校において競争入札による電力供給を導入し、25パーセント程度の電気使用料の削減を達成しております。

中学校給食の導入については、様々な観点から調査・検証を行い、学校給食の目的である、子ども達が望ましい食習慣を身につけ、成長期における適切な栄養の摂取ができるよう、「完全給食」、「全員喫食」による給食の実施方式を決定しております。

1 小学校普通教室にエアコン設置

近年、夏場の猛暑下における児童の体調管理や熱中症予防が大きな課題となっております。このような状況の中、大阪府内だけにとどまらず、全国的にもここ数年、小学校普通教室へのエアコン設置を進めている市町村が急増しています。本市においても、保護者等からエアコン設置を望む声が年々増えており、暑さ対策は喫緊の課題となっております。

児童の体調管理や熱中症予防への対応策として、また良好な学習環境を整備するためには、普通教室へのエアコン設置が必要であり、エアコンの早期設置、市内一斉整備の実現に向け、事業手法や整備スケジュールなどを検討・確立してまいります。

2 全員喫食の中学校給食を順次開始

中学校給食については、成長期における生徒の健全な心身の育成や食育の推進等の役割を果たし、学校教育の一環として重要な事業であることから、「完全給食」、「全員喫食」による給食を、平成31年度の小中一貫教育の開始に合わせて、池島中学校及び縄手南中学校の2校から開始し、平成34年度には全25中学校において給食が実施できるよう準備を進め、学校給食の充実と中学校における食育の推進を図り、子どもを豊かに育む教育環境の向上を目指してまいります。

3 公立学校施設の耐震化

災害時には地域の避難所にもなる小中学校体育館の利用者の安全を確保するため、これまで非構造部材（サッシ）の耐震化を進め、平成28年度で完了いたしました。また、市立日新高校についても、平成28年度に耐震化を完了しております。

今後は、「公立の就学前教育・保育施設再編整備計画（平成27年5月）」において引き続き市立幼稚園として運営される幼稚園の園舎耐震化に取り組んでまいります。